せんごくの里ニュース ふなで

2017年4月　第18号
社会福祉法人大阪福祉事業財団
せんごくの里
発行責任者：所長　永田美子
〒597-0051 貝塚市王子1183-3
TEL(072)437-1075
FAX(072)437-1076

せんごくの里　7度目の春に思う

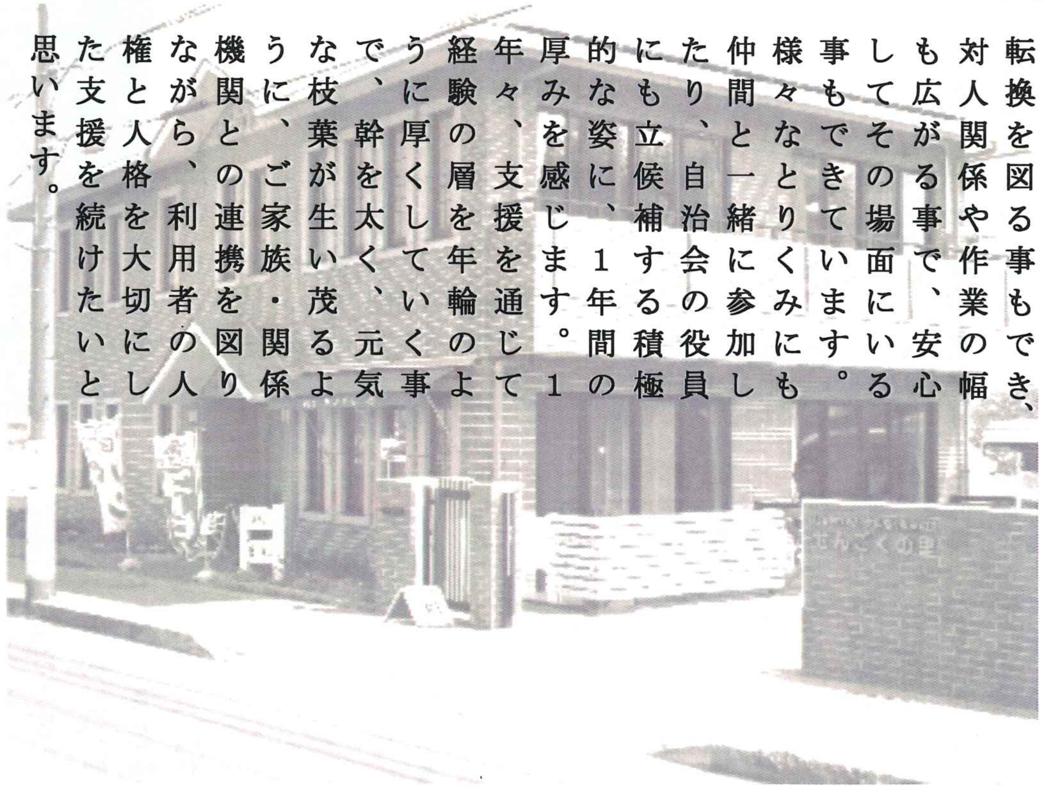
春は何かにつけて変わり目の季節です。1年は過ぎてしまえばあっという間の様な気がしますが、振り返ると、この1年間の毎日の積み重ねの有様が浮かび上がります。

せんごくの里を利用するという事は卒業生にとって、新しい環境や人間関係に飛び込んでいくという、半端のない不安があった事と思います。ご家族にも「送迎車に乗れるかしら」「作業の部屋に入れるかしら」「友達とうまくやっていけるだろうか」「行くのを嫌がらないかな」等の心配もありました。利用前の聞き取りや懇談を通して、そんな不安や心配事を職員全員が周知した上で、一人ひとりに合った関わりを、毎日工夫しながら続けてきました。

季節が一巡りする間に、集団の中で色々な場面、多様な経験を重ねて、今や逞しいせんごくの里の一員です。日課にも慣れて、オリジナルのスケジュールで気分転換を図る事もでき、対人関係や作業の幅も広がる事で、安心してその場面にいる事もできています。様々なとりくみにも仲間と一緒に参加したり、自治会の役員にも立候補する積極的な姿に、1年間の厚みを感じます。年々、支援を通じて経験の層を年輪のようにに厚くしていく事で、幹を太く、元気な枝葉が生い茂るように、ご家族・関係機関との連携を図りながら、利用者の人権と人格を大切にした支援を続けたいと思います。

今後ともご指導・ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

施設長　永田　美子



楽しかったなかまの交流会

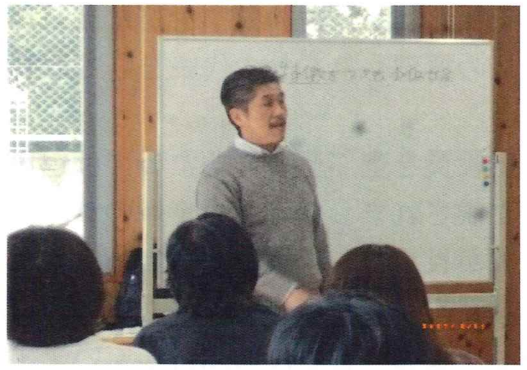
2月23日（木）、『きょうされん泉州ブロック　なかまのつどい』に参加してきました。せんごくの里からは、森西さん・浅野さん・南出さんの3名が参加しました。会場のファインプラザ大阪は総勢100名以上の参加者で大賑わい。

まずは各施設の紹介です。どの施設も工夫を凝らしています。せんごくの里もパネルを使っての施設紹介です。大勢の前で緊張しましたが、立派に大役を果たしてくれました。うちわを使っての風船送りゲームをしているうちに、緊張もほぐれ他施設のなかまとも打ち解けてゲーム大会は大いに盛り上がりました。

昼食休憩をはさんで、午後からはミュージックケアがありました。3名とも普段のミュージックケアのように元気にリズムに合わせて体を動かしていました。100名を超える参加者が一体となって、体を動かしたり楽器を鳴らしたりすることは圧巻でした。とても楽しいつどいでした。

今日からあなたも似顔絵士？

3月11日（土）ワークセンターすっくにて、『福祉のひろば読者のつどい』を開催しました。せんごくの里・貝塚こすもすの里の利用者、保護者、職員の28名が参加。今回は、福祉のひろばで「似らすとれーしょん道場」を連載されているラッキー植松氏を講師にお招きし、「銭湯も似顔絵も福祉」をテーマに講演と似顔絵教室をお願いしました。



貝塚市には現在「平和湯」（貝塚市津田南町）たった1軒あるだけ。銭湯の話を聞いていると、銭湯に行ってみたくなりました。

似顔絵教室では、笑福亭鶴瓶師匠の写真を題材に、似顔絵のポイントは「特徴をつかむ」・「デフォルメする」こと。参加者全員がそれを念頭に挑戦。「絵がうまい下手は関係ないです」の言葉に勇気づけられます。出来上がった絵は、それぞれ味のある表情に。皆で、笑い合えた楽しいひと時でした。

終了後は、ラッキーさんを囲んでの銭湯談議に花が咲きました。

わくわく班

2月22日、わくわく班では新年会を行いました。年末年始はたくさんの作業で忙しく、1月はインフルエンザでと延ばし延ばしになっていました。

普段はせんごくの里と麻生中作業場に分かれての作業なので、一緒に何かに取り組むことがないわくわく班15名が集合。人数も多いので“すっく”の食堂を借りて新年会の実施です。事前にケーキと飲み物は聞き取りをしていたので、みんなの希望したケーキと飲み物を配って「いただきます！」美味しいので急いで食べる人もいれば、ゆっくり味わって食べる人も。ゆっくりとした時間を過ごしてみなさん笑顔です。せっかく“すっく”に来たので、作業室も見せてもらって、見学も兼ねた新年会になりました。

普段はお給料後の取り組みとして少人数で喫茶に行っています。今回のように大人数で喫茶に行く取り組みはなかなかできませんが年に1回、班員全員で集まって班として一つの取り組みをするのも大切だと思いますので、今後も続けていきたいと思います。

音楽療法
vol.13

今回はミュージック・ケア（以下M・C）そのものについてお話ししたいと思います。

M・Cは支援する側される側の区別なく、一緒に楽しめる音楽療法です。今のあなたをそのまま受け止めるところから始まります。自分が自分らしく成長しようと思うまで寄り添いながら、自ら何かをしてみたいなと思った時、手を差し伸べて援助していくのです。

何かが上手にできたり、人より先に何かができるようになることが目的ではなく、体を動かしながら表現することを大切にしています。障がいを持っている方の場合は、特に人間関係を広め、深めてあげることにより、自らが発達しようとする力を持たせてあげることが期待できます。

M・Cでは個人を尊重しながら、関係性を広め深めるための要素が沢山あります。また、オリジナル基本メソッドには、発達や成長に欠かせない動作が意図的に取り入れられています。音楽に合わせて動きながら、協調性、社会性、自己調整力など、楽しみながらこれらの力が促進されていくのです。

M・Cが最も大切にしているものの一つに安心できる空間作りがあります。安心できる場だからこそ、情緒の安定と育成を図ることが期待できるのです。そして、毎回のセッションでは、皆さんの状態を考慮してプログラムすることを大切にしています。五感に心地よい刺激を与えながら動作を誘発し、「できた！」という喜びを皆で沢山感じ合える楽しい活動がミュージック・ケアなんです。

日本ミュージック・ケア協会認定指導者　浦川暁美

白いくも

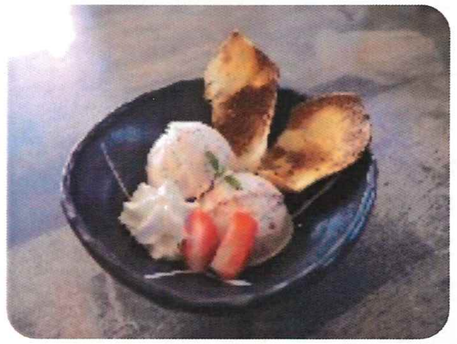
桜のきれいな春、4月を迎えました。早いもので、『かふぇ&ベーカリー　白いくも』がオープンして6年半が経ちました。ほんと、あっという間のことのように思えます。日頃から、皆さまの支えのお陰で利用者の方も毎日、楽しく仕事が出来ています。

先日の3月11日（土）に、1年ぶりの半額セールを行いました。沢山の方に訪れてもらいました。この場を持ちまして「感謝！感謝！」です。ありがとうございました。

メニューも新しい物が加わりました、期間限定「てづくり　苺あいす」です　新鮮な苺をたっぷりと使った甘くてさわやかーなアイスです。是非、ご来店の際は、ご賞味ください。

白いくも麻生中もがんばっています。委託の軽作業を毎日モクモクとコツコツと仕事に励んでいます。

今後とも白いくもをよろしくお願いします。



いきいき班

新利用者が来て、約1年が経ちました。最初は、他の利用者と仲良く出来るかと、心配していましたが日々の利用でみんなと送迎車に乗る事も出来、来所後は、顔を合わせると「おはよう！」と声を掛け合い、毎日が楽しく過ごせています。作業など色々な取り組みにも参加する事が出来て来ています。

「何をしたらいいのか？」と戸惑う事ばかりでしたが、今は、他の利用者とも仲良くなり、作業や散歩など、楽しく過ごす事が出来ています。これからも、いきいき班で頑張って出来る様職員一人一人が利用者の思いに添えるよう、がんばります。

決定！　自治会役員
～2年間、よろしくお願いします～

木下さん、岡山さん、中岡さん、岸本さん、板原さん、浅野さんの６人の役員で進めてきた自治会ですが、この３月で役員の方々は２年の任期を迎えました。３月最後の役員会でこの２年間を振り返りました。

それぞれが自分の役割をがんばったこと、５周年行事の司会や節分、誕生会やおやつ作り、そしてボーナスの要望もみんなの代表として取り組んできました。本当にお疲れ様でした。

新役員を選ぶ選挙にあたっては選挙管理委員が中心となって立候補者を募りました。今回は、９名の方が立候されました。役員選挙の日、みんなの前に立って自分の思いを伝えることは緊張しながらも、一人一人が役員としてがんばりたい気持ちを伝えてくれました。

今回初めて当選した方、役員継続となった方、以前の経験者、新しい役員の皆さんに期待しています。

【新役員】

南　勇人 さん　**南出なごみ** さん
住　祐里香 さん　**近藤　紀子** さん
岸本　正徳 さん　**中岡　潤忠** さん

新役員に選出され、喜びと緊張の面々。
「がんばれ～！」